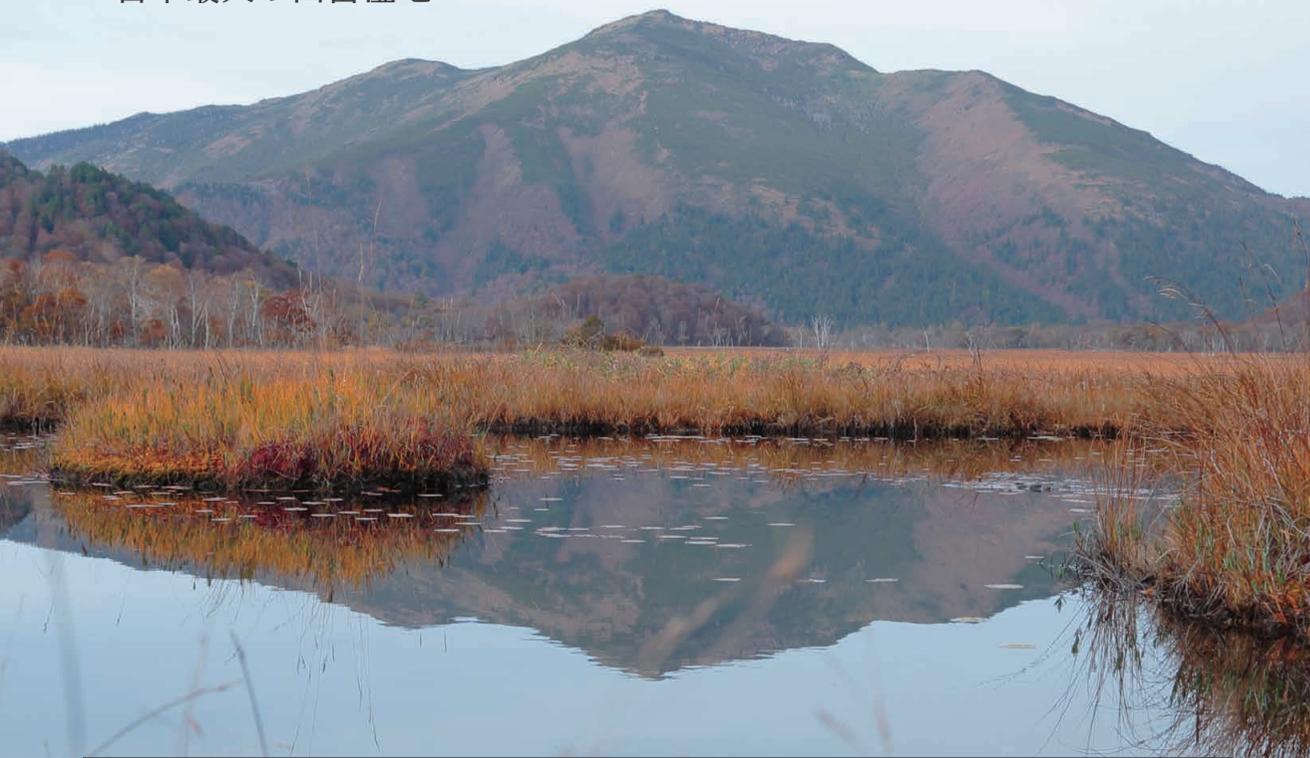


尾瀬国立公園

名峰に囲まれ花咲き乱れる
日本最大の山岳湿地



尾瀬国立公園の歴史は古く、昭和9(1934)年に日光国立公園の一部として指定されていましたが、平成19(2007)年に日光国立公園から尾瀬地域を分割し、会津駒ヶ岳、田代山、帝釈山など周辺地域を編入して、29番目の国立公園として指定されました。尾瀬の名は、国民的愛唱歌「夏の思い出」でも広く知られており、本州最大の高層湿原である尾瀬ヶ原、噴火

によって只見川の源流部が堰き止められてできた尾瀬沼、これらを取り囲む至仏山、燧ヶ岳、会津駒ヶ岳、田代山、帝釈山などの山々が織りなす美しい風景を特徴としています。また、尾瀬は、過去に幾度も開発の危機にさらされてきましたが、多くの人々の努力によって今日でも貴重な自然が保たれており、日本の「自然保護運動の原点」とも呼ばれています。

指定	2007年8月30日
面積	37,222 ha
	福島県・栃木県・群馬県・新潟県

水のある風景を楽しむ



三条ノ滝



尾瀬沼

山や植物を楽しむ



笠ヶ岳



会津駒ヶ岳

文化・くらしにふれる



会津沼田街道



檜枝岐歌舞伎

生き物に会う



ホンドオコジョ



ハッチョウトンボ

Itinerary

山頂を目指さない尾瀬の山歩きから、日本の自然保護運動の原点を巡る

「日本の自然保護運動の原点」と称される尾瀬。江戸時代には群馬県と福島県を結ぶルートとして交易が盛んであり、近年は自然保護活動が功を奏し、広大な湿原景観やそこに生育する多種多様な花々などが咲き誇るようになりました。その広大な湿原景観を最大限楽しむために、事前にネイチャーセンターなどにて尾瀬に関しての予備知識をつけてから、雄大な尾瀬ヶ原の景色を眺めながらのハイキングを体験します。高低差が少なく、「山頂を目指さない山歩き」は尾瀬の魅力であり、広大な湿原を自分の足で体感して充実感を味わいます。また、この地の長年にわたる自然保護活動からSDGsも探求します。

webサイトへ



Day 1

尾瀬の歴史・自然・環境・保護活動について学び、尾瀬で暮らす動植物の展示を見学

11:20頃 ● 上毛高原駅



13:40 ● 尾瀬ネイチャーセンター・尾瀬ぷらり館 見学
} 15:40



16:00 ● ホテル(尾瀬戸倉温泉)

Day 2

日本最大の山地湿地・尾瀬ヶ原の雄大さを感じながらのトレッキング

8:00 ● バス(約35分)

9:30 ● ネイチャーツアー
} 尾瀬ヶ原の雄大さと自然保護運動の原点
14:30



15:50 ● 尾瀬戸倉バス停



18:30 ● 上毛高原駅

お問い合わせ

関東地方環境事務所

location 〒330-9720 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地1
さいたま新都心合同庁舎1号館6階
TEL 048-600-0516
MAIL REO-KANTO@env.go.jp

檜枝岐自然保護官事務所

location 〒967-0525 福島県南会津郡檜枝岐村下ノ原
867-1
TEL 0241-75-7301
MAIL RO-HINOEMATA@env.go.jp

片品自然保護官事務所

location 〒378-0415 群馬県利根郡片品村大字鎌田
下半瀬3885-1
TEL 0278-58-9145
MAIL RO-KATASHINA@env.go.jp